

江古田の森保健福祉施設の整備・運営事業 提案施設の概要について

1. 施設構成

単位 ; m²

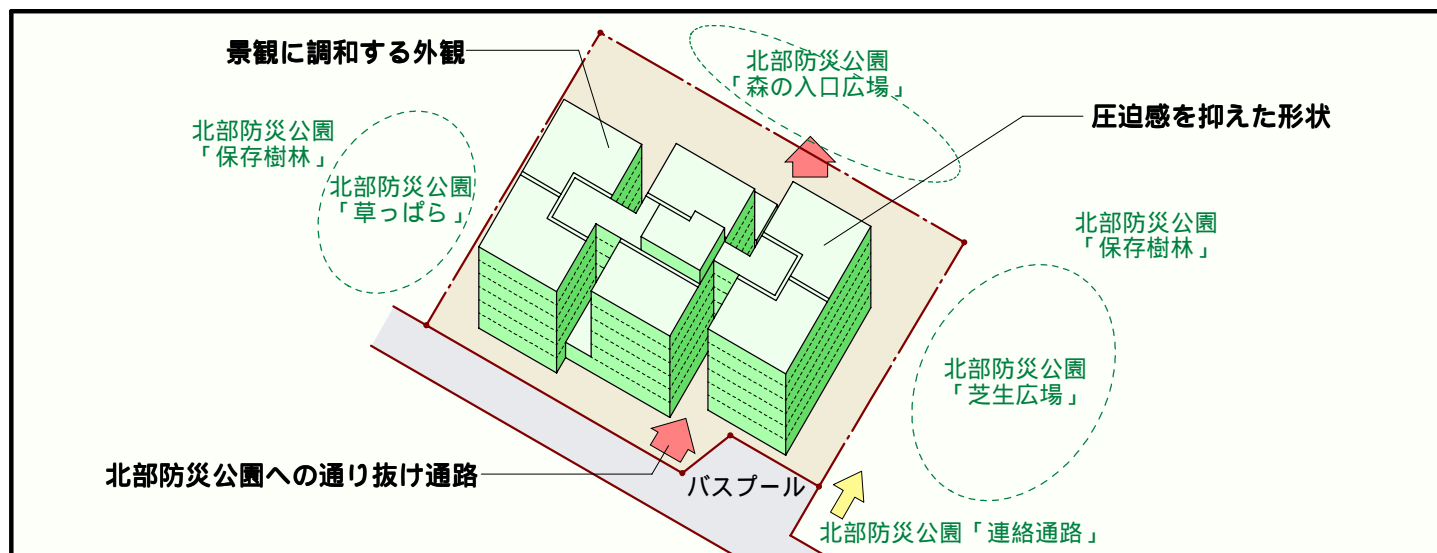
事業種類	定員	提案床面積
(1)高齢者施設		10,937
介護老人保健施設	-	
1)介護老人保健施設	100床	4,281
2)短期入所療養介護事業	(20床)	
3)通所リハビリテーション事業	40名/1日	
介護老人福祉施設	-	
1)介護老人福祉施設	100名	6,656
2)短期入所生活介護事業	20名	
3)通所介護事業	40名/1日	
(2)障害者施設		2,945
小規模身体障害者療護施設	-	
1)小規模身体障害者療護施設	10名	1,002
2)身体障害者短期入所事業	2名	
3)身体障害者デイサービス事業	15名	
知的障害者入所更生施設	-	
1)知的障害者入所更生施設	30名	1,943
2)知的障害者短期入所事業	2名	
3)知的障害者デイサービス事業	15名	
(3)交流施設		508
地域交流スペース(防災型)	-	508
(4)提案事業及び施設		3,149
選択提案事業及び施設		3,028
1) 訪問介護事業	-	9
2) 訪問看護事業	-	9
3) 居宅介護支援事業	-	9
4) 身体障害者居宅介護等事業	-	9
5) 知的障害者居宅介護等事業	-	9
6) 訪問リハビリテーション事業		9
7) ケアハウス	60名	2,948
8) 診療所	-	28
任意提案事業及び施設		121
1) 売店	-	31
2) 食堂(喫茶コーナー)	-	20
3) 本施設事業内保育所	-	69
合 計		17,539

2. 施設の平面図、立面図及びパース

別紙のとおり。

2.(2) 提案に際しての概念図

ゾーニング説明図



建物の高さ	○	建物の高さがある程度高い建物となる
空地の大きさ(平面の大きさ)	○	敷地内に適度に空地が確保できる
風通し・採光等の室内環境	◎	室内の環境が良い
自然への配慮(既存樹木の保全等)	◎	既存樹木をすべて保全
利用者及びスタッフの動線	◎	利用者の動線が非常にわかりやすい
地域住民に対する建物の開放性	◎	地域住民に対して非常に開放しやすい
施設利用者に配慮したフロア構成	◎	施設がわかりやすい
施設のフレキシビリティ性	◎	施設のフレキシビリティ性が高い
防災上・安全上の配慮	◎	避難経路がとてわかりやすい
施設の独立性	○	各事業がフロアで独立している

- ・建物を分節し圧迫感を軽減させ、雁行させることでリズムカルな外観を形成します。
- ・ケアハウスを建物の最上階に設けます。
- ・コアを中央に集中させることで、動線を分かりやすくすることで、迷わない安全で安心な建物とします。
- ・棟と棟をつなぐ部分にセミパブリックスペースを設けて、ユニット間の交流の場を設けます。
- ・1フロアに1施設を基本とする事で各施設が、1層ないし2層で納まり、スタッフの動線が短くなるようにします。
- ・既存樹木を剪定・下草刈りにより保全し、自然を生かします。

各種ゾーニング計画との比較検討

CASE - 1	CASE - 2	CASE - 3
<p>施設コンセプト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設を分散して配置することで、それぞれの用途に独立性をもたせる。 ・「江古田の森」との調和を考慮して、建物の高さを低くする。 	<p>施設コンセプト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案施設を多く計画するために建物を高層とする。 ・空地を出来るだけ多く取るために施設を集約する。 	<p>施設コンセプト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての施設を集約した計画とする。 ・フロア毎で施設を構成させる事で分かり易い配置計画とする。
◎ 建物の高さを低く抑えることができる	× 建物の高さが非常に高い建物となる	○ 建物の高さがある程度高い建物となる
× 敷地内の空地が確保しづらい	◎ 敷地内に十分な空地が確保できる	○ 敷地内に適度に空地が確保できる
△ 室内環境のあまり良くない居室がある	△ 室内環境のあまり良くない居室がある	△ 室内環境のあまり良くない居室がある
× 既存樹木の保全が困難	× 既存樹木の保全が困難	△ 既存樹木の一部を保全
× 利用者の動線が多い・長い・複雑	× 利用者の動線が多い・長い・複雑	△ 利用者の動線がわかりやすい
× 地域住民に対して開放しづらい	× 地域住民に対して開放しづらい	△ 地域住民に対して開放しやすい
× 施設が分散され、わかりづらい	△ 施設が分散され、わかりづらい	○ 施設がわかりやすい
△ 施設のフレキシビリティ性が低い	△ 施設のフレキシビリティ性が低い	○ 施設のフレキシビリティ性が高い
△ 避難経路が複雑	× 避難経路が複雑	○ 避難経路がわかりやすい
◎ 各事業の独立性が高い	○ 事業によっては独立している	△ 各事業が独立していない

配置・1階平面計画説明図

【芝生駐車場】

天然色舗装と芝生の組み合わせによる「芝生駐車場」とする事で、車が駐車していない時には、緑の広がる広場状空地となります。

【外構計画】

既存樹木を将来にわたって保全・更新していきながら歴史ある江古田の森と一体となった癒しの場を提供します。

【コミュニティ広場】

イベントの会場や子供たちの遊び場として利用してもらいます。「江古田の森」の自然を感じながら気軽に憩える場となります。



【地域交流センター】
周辺地域との交流や防災の拠点としてたくさんの人に利用してもらいます。

【デイサービス施設】
独立性と一体感を併せ持つ複数のデイサービス事業が、利用者のニーズに応えたサービスを提供します。

【通り抜け通路】
誰でも自由に利用でき、公園への通り道、イベントや憩いの場、災害時の支援活動拠点など、様々な利用が可能となります。

【菜園】
園芸療法等で利用すると共に、交流を深めながら四季折々の変化を感じる空間とします。